

4月15日(土)・16日(日)は通行止め規制実施

「海津大崎の桜」へはパーク&バスライドで誘導します！

開花状況により、8日(土)・9日(日)に変更する場合があります

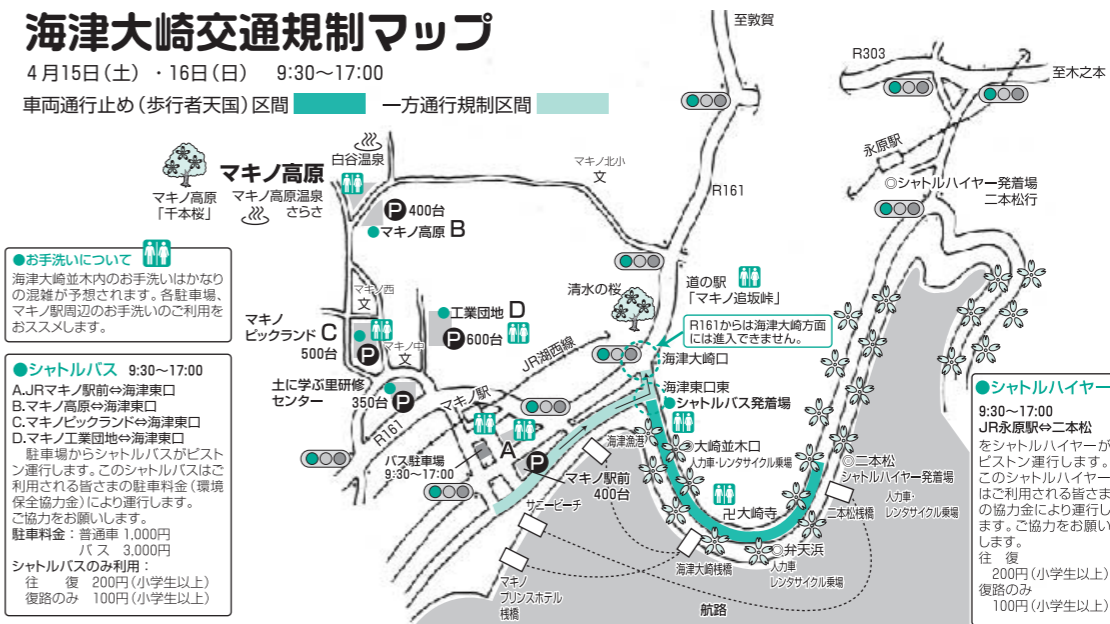
本誌3月号でもお知らせしたとおり、毎年「海津大崎の桜」には国道161号などの主要幹線道路に花見に向かうマイカーや観光バスが集中し、開花ピークの土日には沿線集落の生活に支障が及ぶほどの渋滞や違法駐車で混雑することから、今年は15日(土)と16日(日)、9時30分から17時まで通行止め規制が実施され桜並木沿道は歩行者天国となります。このためJRマキノ駅前など町内数箇所に臨時駐車場を設置し、海津大崎に向かう観光客の方に、マイカーからシャトルバスに乗り替えていただく「パーク&バスライド」で誘導します。

また、樹齢70年を数える桜の保全を図るなど環境にも配慮して歩行者天国となる区間ではレンタサイクルや人力車(いずれも有料)などもご利用いただくことができます。

ご来場の方にはご迷惑をおかけしますが、当日はできるだけ周辺道路の通行を避けていただくとともに、JRや臨時駐車場利用により「パーク&バスライド」へのご協力をお願いします。

海津大崎交通規制マップ

4月15日(土)・16日(日) 9:30~17:00
車両通行止め(歩行者天国)区間 一方通行規制区間



- お手洗いについて 海津大崎並木内のお手洗いはかなりの混雑が予想されます。各駐車場、マキノ駅周辺のお手洗いのご利用をおススメします。
- シャトルバス 9:30~17:00 A. JRマキノ駅前⇄海津東口 B. マキノ高原⇄海津東口 C. マキノピックランド⇄海津東口 D. マキノ工業団地⇄海津東口 駐車場からシャトルバスがピストン運行します。このシャトルバスはご利用される皆さまの駐車料金(環境保全協力金)により運行します。ご利用をお願いします。 駐車料金：普通車 1,000円 バス 3,000円 シャトルバスのみ利用： 往 復 200円(小学生以上) 復路のみ 100円(小学生以上)

●シャトルハイヤー 9:30~17:00 JR永原駅⇄二本松をシャトルハイヤーがピストン運行します。このシャトルハイヤーはご利用される皆さまの協力金により運行します。ご協力をお願いします。 往 復 200円(小学生以上) 復路のみ 100円(小学生以上)

マキノタウンバス 運行規制実施中、マキノ 運行路線の変更 タウンバス国境線は海津西浜地先の湖岸道路を通らず、国道161号を運行します。この間に停車するのはマキノ高原線と同じの国道西浜・海津・海津大崎口の各バス停となります。(マキノ支所)

JR臨時電車時刻表

【8日(土)、9日(日)、15日(土)および16日(日)運転】

Table with 5 columns: Station, Departure Time, Arrival Time, Station, Arrival Time. Rows show departure from Kyoto and Utsunomiya, and arrival at Maikino and Utsunomiya.

市民みなぎのまちづくりバスを

皆さんの身近な交通手段として親しまれている「ミニミニバス」。

市では、市内の交通弱者の生活利便性確保のために必要なバス路線を維持するため多額の財政負担をしています。近年利用者の減少やバス運行経費の増加により市の負担が増加しています。平成17年度(バス事業年度)平成16年10月1日~平成17年9月30日)のバス路線維持のために要した市の負担額は、2億4,360万円です。市民一人あたり約4,400円を負担していただいたこととなります。

このため、市では4月1日の湖西線運行ダイヤの改正に伴うバスダイヤの改正にあわせて、年々増加する運行経費の削減を図る目的で一部のバス路線の統合や運行便数の調整等を行わせていただきました。ご迷惑をおかけしますが、ご理解をよろしくお願いいたします。

なお、市では、バス交通は交通弱者にとってふだんの日常生活を営んでいく上で欠くことのできない移動手段であることを深く認識し、継続的な維持に努めま

※運行経費のうち、運賃収入等でまかなえない分について、その一部が国の特別交付金と県の補助金で補填されています。(交通対策課)

市長日記

驚のさえずりを聞きながら一日を始めることができる。有難いことです。若葉マークの声も、だんだん上手になっていく様子は、新しい春の訪れを象徴するかとです。

先日、遅ればせながら、琵琶湖の玉石?「もろこ」の美味しさを知りました。とても感動しました。炭火で丹念に炙りながら、程よいところで網の目に魚の頭を立て、頭も程よく焼くよう習ったのです。臭みもなく、口の中で溶けるように消えていきます。客人の喜びようといったらありませんでした。趣があり、その向こうに歴史や文化や環境が凝縮されています。今や「もろこ」は、幻の魚となりつつありますが、増やす努力も始まっています。

今春、県版経済特区の「琵琶湖さとやま観光振興特区」に指定される運びとなりました。観光産業は、年齢、性別、学歴を問いません。都市との違いが価値となり、高島には心地よさの種がいっぱい。琵琶湖環状線開通に向け「位置について。ヨーイ!」です。「もろこ」にも一肌脱いでもらいますので、市民の皆さんも是非一肌もふた肌もお願います。

さて、平成18年度をスタートするにあたり、合併協議からの約束事「負担は低く、サービスは高く」が一年しが守れなかったことを、謹んでお詫び申し上げます。

合併協議では、6町村が対立・決裂しないよう、敢えて厳しい政策調整に踏み込まなかったのも事実です。人口規模の小さな自治体に対する国の政策転換をうけ、私

ちは合併して力を合わせていくことを選んだのです。「苦労の、し甲斐のある合併に」との協議会最後の発言が心に刻まれています。

それぞれに説明が違ったことで、合併メリットと聞こえのよい話ばかりだったのに、いきなり財政再建では話が違つたと腹立ちの方も多いと存じます。誠に申し訳ありません。しかし、未来世代からすると、この体質改善は合併メリットであるのです。これからは、税を納める人口が減り、支援を必要とする人口が増え、国や県からの予算配分が減少する逆風です。子どもや孫のクレジットカードを使い続けることでもできません。

かつて結婚式で聞いた言葉ですが、「苦労はさせても、悲しませるようなことはない」。合併はよく結婚に準えられます。市民の皆様の負担をできるだけ増やさないよう努めて参りますので、何卒、ご理解をお願いします。

今現在、国道367号線が村井での土砂崩れで、朽木は血液が止まったような状況です。5万人を越える市民の皆様、朽木へのご支援をお願いします。

最後に、22日の朝自衛隊再編により40年間今津の地で活躍いただいた陸上自衛隊特科連隊をお見送りしました。感謝を込めて隊員の皆様のご健勝を祈念いたします。今年は、寒さが早かった分、桜の開花が早いとか、高島市もそうありがたいです。

海東英和 拜

シリーズ 環の郷 高島を目指して その四

「知恵の環」まちづくり 市民懇談会から貴重なご意見を頂きました。



高島市はどんなまちづくりをしていくのか。「水と緑 人のいきかう高島市」を目標像として、「環の郷たかしま」の実現に向けたまちづくりの方向性を示す総合計画を策定中です。市民の皆さんが、日頃の暮らしや経済活動、サークル活動などを通してお感じになっておられることを持ち寄り、意見交換をおこなう場として、関係する分野で活躍されている市民のみなさんと5つのテーマ(地域産業、環境整備・保全、地域福祉、生涯学習、地域コミュニケーション)でまちづくり市民懇談会を開催しました。

- ・生きがいの創出、医療費の抑制などを図れるのではないか。
- ・地域づくりの計画は子どもと一緒に考えよう
- ・自治会などで花壇を作ったりするとき、必ず子どもと一緒に考える。そのことの積み重ねで、子どもが住んでいる周りのことを提案してくれるようになった。
- ・生きがいづくりは仲間作りから思い切って新しい仲間作りを始めよう。人と人がつながれば、元気がやる気が湧いてくる。
- ・挨拶が作る人間関係
- ・挨拶が世代間をつないでくれる。
- ・コミュニケーションと情報交換
- ・市内にどんな技術があるのか、どんなノウハウを持っているのか、どんなアイデアがあるのか、をつなぎ合わせる場や仕組みを作った、新しいものづくりが出来てくるのでは。

意見交換を通して、地域の課題や、小さくても色々な取り組みが動いていること、アイデアなどが紹介され、高島の気付きを生み出す材料がたくさん出されました。県下一大きな面積を有し少子高齢化が進行する地域の中で、ここに住む人の知恵の持ち寄りから新しいものを生み出していくことにつながれたらと考えられます。持ち寄られたご意見の中から、まちづくりのヒントと考えられるものを一部紹介します。

- ・自然を活用した予防医療の可能性を
- ・環境と医療がつながり、健康保持

(企画調整課)